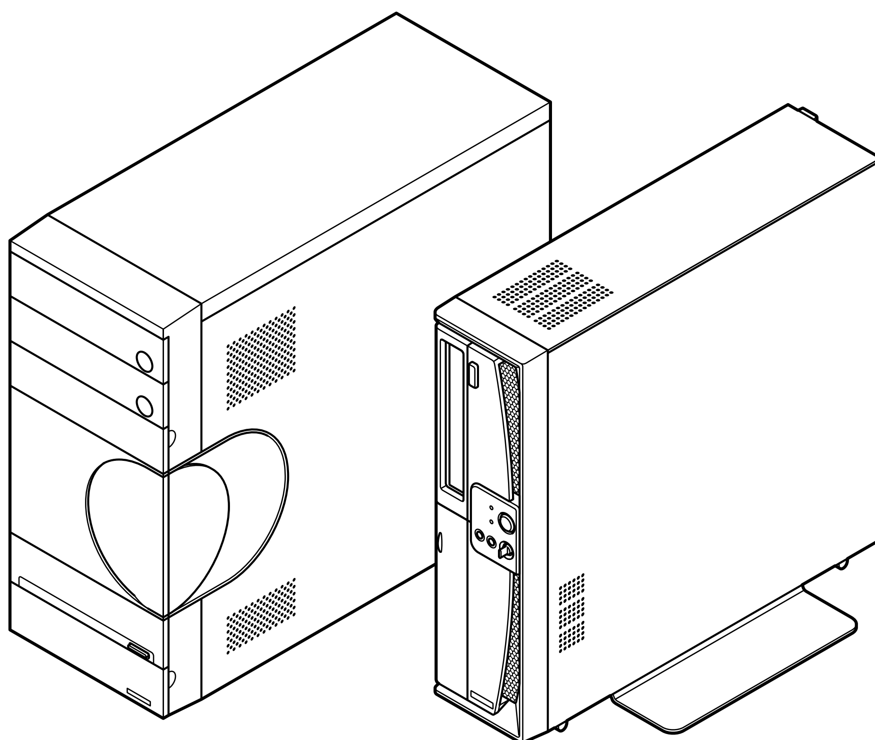
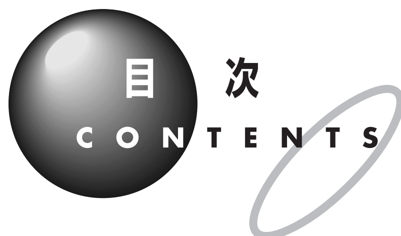
ValueOne MT
ValueOne ST

NEC

ユーザーズマニュアル



ValueOne



853-810601-629-A
2007年1月　初版

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

障害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。



一般禁止
その行為を禁止します。



接触禁止
特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。



水ぬれ禁止
水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。



火気禁止
外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。



分解禁止
分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。

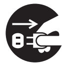


ぬれ手禁止
ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

障害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。



使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。



電源コードのプラグを抜くように指示するものです。



アース線を必ず接続するように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。
	参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、マルチプレードライブ、およびCD-ROMドライブのいずれかを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」は、デスクトップの（サポートナビゲーター（電子マニュアル））をダブルクリックして起動します。
「サポートナビゲーター」-「使いこなす」	「サポートナビゲーター」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

『ValueOne シリーズをご購入いただいたお客様へ』または『ValueOne G シリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ（DVD スーパーマルチドライブ機能付き）を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVD スーパーマルチドライブ（DVD-R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVD-R/+R 2層書込み））を搭載しているモデルのことです。
マルチプレードライブモデル	マルチプレードライブ（CD-R/RW with DVD-ROMドライブ）を搭載しているモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
RAIDモデル	RAID機能を搭載しているモデルのことです。
Windows Vista Home Basicモデル	Windows Vista Home Basicがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows Vista Home Premiumモデル	Windows Vista Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows Vista Businessモデル	Windows Vista Businessがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2007モデル	Office Personal 2007またはOffice Personal 2007とPowerPoint 2007が添付されているモデルのことです。
Office Personal 2007モデル	Office Personal 2007が添付されているモデルのことです。
Office Personal 2007 with PowerPointモデル	Office Personal 2007とPowerPoint 2007が添付されているモデルのことです。

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows Vista	Windows Vista™ Home Basic Windows Vista™ Home Premium Windows Vista™ Business
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007、（Microsoft® Office ナビ 2007））
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007	Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2007 トレンド フレックス セキュリティ
「スタート」	Windows Vista™ スタート ボタン
ユーザーアカウント制御	Windows® ユーザーアカウント制御

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ BusinessまたはWindows Vista™ Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

各種規制について

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータには、技術基準認証済みの通信機器が搭載されています。
本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国モードに設定してご使用になりますと電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。なお、ご購入時の使用国モード(初期値)は「日本モード」となっておりますので、設定を変更しないでそのままご使用ください。

■高調波電流規制について

この装置の本体は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 適合品です。
本体の電源の入力波形は正弦波をサポートしています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。このあとの「安全にお使いいただくために」に従って正しい取り扱いをしてください。

■瞬時電圧低下について

本装置は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。(社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示)

■レーザ安全基準について

このパソコンには、レーザ製品の安全基準(JIS C-6802、IEC60825)のクラスⅠレーザ製品であるDVD/CDドライブが搭載されています。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

安全にお使いいただくために

安全上のご注意（警告事項）

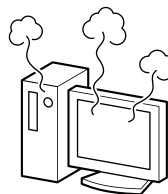
■本体使用上の警告

⚠警告



● **煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

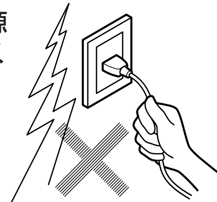
そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、NEC 121 コンタクトセンターにお問い合わせください。





● **雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード、AC アダプタ、USB ケーブルなど）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。**

落雷による感電のおそれがあります。





● **ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管してください。**

窒息事故などを起こすおそれがあります。



● **不安定な場所に置かないでください。また、地震等によって落下や転倒しやすい場所には置かないでください。**

落下、転倒してけがをするおそれがあります。



● **本機を改造、分解しないでください。**

感電、発煙、発火の原因になります。



● **本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。**

発熱、発火、破裂の原因になります。



● **本製品の内部に次のような異物を入れないでください。**

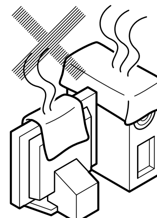
・金属物　・水などの液体
・燃えやすい物質　・薬品

回路がショートして火災の原因になります。



● **装置の通風孔をふさがないでください。**

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因になることがあります。



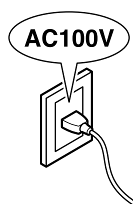
■電源、電源コード、AC アダプタ使用上の警告

⚠警告



● 電源は AC100V（50/60Hz）を使用してください。

異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

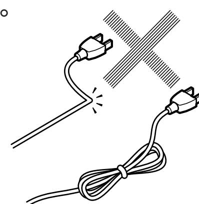




● 電源コード、ACアダプタを取り扱う際は、次の点をお守りください。

・落下させたり衝撃を与えない
・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
・つけ根部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所では使用しない

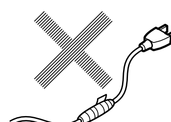
発煙、発火、火災、感電の原因になります。





● 破損した電源コードは使用しないでください。

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。





● 電源コード､ACアダプタのプラグにホコリがたまったままの状態で本機を使用しないでください。

電源コード､ACアダプタのプラグにホコリがたまったまま使用していると､プラグのピンの間で放電（トラッキング現象）が起こり､火災の原因になります。



● 電源コードは、装置添付のものを使用し、そのプラグを、壁や床に設置されている定格 100V のコンセントに直接差し込んでください。また、装置添付の電源コードを他の機器には使用しないでください。

やむを得ず、お客様の責任で延長コード等をご利用になる場合は、二重絶縁（二重被覆）のものを定格の範囲内で使用し、以下の項目に十分注意するようにしてください。

・落下させたり衝撃を与えない
・折れ曲がった状態で使用しない
・つけ根部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所では使用しない
・破損したコードを使わない
・プラグにホコリがたまったままの状態で使用しない
・奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く
・ぬれた手で触らない

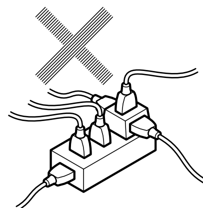
延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因になることがありますので十分ご注意ください。

⚠警告



● **タコ足配線にしないでください。**

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。





● **アース線は、絶対にガス管につながないでください。**

火災の原因になります。



● **アース線の金属部をコンセントとプラグの間にはさまないでください。**
またアース線の金属部をコンセントの差込口に差し込まないでください。

感電の原因になります。



● **本体またはスピーカのACアダプタは、指定のACアダプタを使用し、ACアダプタを分解、改造しないでください。**

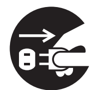
指定以外のACアダプタを使用したり、分解、改造して使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。



● **電源コード、ACアダプタ等の接続の際は、次の点をお守りください。**

・差込部は正しい向きで接続する
・奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く

発煙、発火、火災、感電の原因になります。



● **長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。**

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

■周辺機器使用上の警告

⚠警告



● **周辺機器は、マニュアルに記載の手順に従って正しく取り付けてください。**

正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

安全上のご注意（注意事項）

■本体使用上の注意

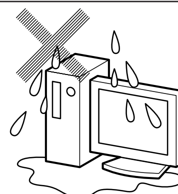
⚠注意



● **本製品を次のような場所では使用・保管しないでください。**

・風呂場など湿気の多い場所
・調理台や加湿器のそばなど水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所

感電の原因になります。万一液体が入った場合は、電源をオフにしてNEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。乾いているようでも本機内部に水分が残っていることがあります。





● **前面カバーを開けた状態で使用する場合は、十分注意してください。**

前面カバーに強くぶつかったときにけがの原因になることがあります。
ケーブル等を接続したり、一部のPCカード等を取り付けたりした状態では、カバーを閉じられません。この場合はカバーを開けたまま使用してください。



● **通風孔からの送風に注意してください。**

通風孔からの排気は室温よりも高い温度となっております。通風孔からの送風に長時間当たることにより、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。



● **DVD/CDドライブのトレイはイジェクトボタンを押さなくても、ソフトウェアの動作などで本体から出てくることがあるため注意してください。**

DVD/CDドライブのトレイにぶつかったり手や足をひっかけたりすると、けがの原因になります。



● **DVD/CD ドライブは絶対に分解しないでください。**

故障、発熱、破損、感電の原因になります。



● **DVD/CD ドライブなどのレーザー光源を直接見ないでください。**

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。



● **添付のCD-ROM・DVD-ROMディスクは、CD-ROM・DVD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカやCD-ROM・DVD-ROMディスクを破損する原因になります。



● **フロッピーディスクイジェクトボタンは指の腹の部分で押してください。**

爪の先でフロッピーディスクイジェクトボタンを押すと、爪と指先の間にフロッピーディスクイジェクトボタンが入ってけがの原因になります。



● **内蔵のFAX モデムは、一般の電話回線のみに接続してください。**

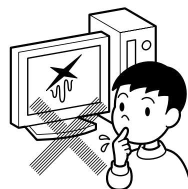
一般の電話回線以外に接続した場合、故障、発熱、破損の原因になります。

⚠注意




- 先のとがったもので液晶ディスプレイ表面に傷を付けないでください。
- 液晶ディスプレイ表面や外枠部分を強く押さないでください。
- 液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。

  液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師にご相談ください。



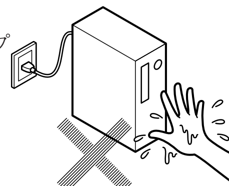
■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の注意

⚠注意



- ぬれた手で触らないでください。

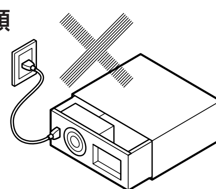
  電源コードがコンセントに接続されているときにぬれた手で本体やACアダプタなどに触ると、感電の原因になります。





- 電源コードがコンセントに接続されているときは、本体のカバー類を外さないでください。

  感電の原因になります。





- 本体へ必ずアース線を接続してください。

  アース線を接続しないと、感電の原因になります。



- アース線の接続や取り外しを行うときは、必ず本体および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてください。

  感電の原因になります。



- お手入れの前には、必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

  電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

■周辺機器使用上の注意

⚠注意



● **周辺機器の取り付け／取り外しを行うとき、特に本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。



● **このパソコンの使用直後に本機のカバーを開けて、周辺機器の取り付けや取り外しをするときは、CPUやCPUの周辺、ヒートシンク（放熱板）に触れないでください。**

CPU、CPUの周辺、ヒートシンク（放熱板）が高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切った後、30分以上たってからおこなうことをおすすめします。



● **電話回線ケーブル（モジュラケーブル）の取り外しや接続を行うときは、モジュラコンセントの端子部分に触れないでください。**

電話がかかってくると電話回線上に電圧がかかるため、電話回線ケーブルを抜いたときにモジュラコンセントの端子に触れると感電のおそれがあります。

■健康上の注意

⚠注意



● **ディスプレイを長時間継続して見ないでください。**

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下することがあります。ディスプレイなどの画面を見続けて、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。



● **キーボードやマウス、トラックボールを長時間継続して使用しないでください。**

キーボードやマウス、トラックボールを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。キーボードやマウス、トラックボールを使用中、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。



● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。**

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを装着した状態でプラグの抜き挿し、本機の電源のオン／オフ、省電力状態／復帰の操作をしないでください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。



製品保護上のご注意

■本機の取り扱い上の注意

● **次のような場所では、使用／保管しないでください。**

誤動作や故障の原因になることがあります。

ホコリが多い場所／衝撃や振動が加わる場所／不安定な場所／暖房器具の近く／磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど）の近く／長時間直射日光が当たる場所／落下の可能性がある場所／テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く／熱のこもる場所／水分や湿気の多い場所／夏の閉めきった自動車内

● **本機は屋内で使用してください。**

● **次の環境で使用してください。**

温度 10℃～ 35℃、湿度 20%～ 80%（結露しないこと）

● **本機を使用する際は、次のことに気をつけてください。**

- 落としたりぶつけたりしないよう、平らで十分な強度がある場所で使用してください。
- 結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- 本機の上にものを載せないでください。また、書類や布などで通風孔をふさがないでください。
- 本機のそばで、飲食や喫煙をしないでください。
- 本機を改造しないでください。当社の保証やサービスの対象外となることがあります。
- DVD や CD などのディスクにデータを記録中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- 静電気に注意してください。本機は静電気によって故障、破損することがあります。本機に触れる前にアルミサッシやドアのノブなどの身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。

● **本機を移動するときには、必ず電源を切り、電源コード、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。**

● **本機を移動するときには、DVD や CD などのディスクを取り出してください。**

本機の故障や、DVD や CD などのディスクの破損の原因になります。

● **長時間使用しないときは、電源コード、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。**

旅行などで長時間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

● **本機に接続されている周辺機器を取り外すときには、必ず接続ケーブルのプラグ部分を持って抜いてください。また、プラグを抜く際は、無理に引き抜いたりこじったりしないでください。**

ケーブルを引っぱって取り外したり、プラグを無理に引き抜いたりすると、故障の原因になることがあります。

● **ケーブル類は整理してください。**

ケーブルを整理しておかないと、つまずいたりひっかけたりして、本機の故障の原因になります。

■ハードディスク取り扱い上の注意

● **振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。**

● **電源を入れたまま本機を動かさないでください。**

● **本機のハードディスク動作中は本機に衝撃や振動を与えないよう、特に注意してください。**

ハードディスク動作中に外部から強い衝撃を加えると、データが失われるだけでなく、ハードディスクが故障することがあります。

● **本機のハードディスク動作中は、電源を切ったり再起動しないよう、特に注意してください。**

ハードディスク動作中に電源を切ったり再起動すると、ハードディスクが故障することがあります。

■データのバックアップについて

● バックアップとは

パソコンに保存されているデータをDVDやCDなどのディスク／フロッピーディスク／外付けハードディスクなどに複製（コピー）することを「バックアップを取る」といいます。
パソコンの故障などの異常が起きてご購入後に作成したデータが消えてしまった場合、そのデータをもとに戻すことはできません。
万一の事態に備えて定期的にデータのバックアップをおこない、大切なデータを保護しましょう。

● バックアップを取るタイミング

特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ることをおすすめします。また、日時や曜日を決めて定期的にバックアップを取るのもよいでしょう。

■お客様が作成されたデータの保存に関するご注意

お客様が作成されたデータ（画像データ、映像データ、文書データなど）やプログラム、設定内容が記憶装置（ハードディスクなど）に記憶されている場合はお客様の責任においてバックアップをお取りくださいますようお願いします。お客様が作成されましたデータなどは普段からこまめにバックアップをお取りになることをおすすめします。
本商品の故障や誤動作などにより、記憶装置に記憶された内容が消失したり、使用できない場合がございますが、当社ではその損害の責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■コンピュータウイルスの予防について

● コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、パソコンの動作に悪影響を与える不正なプログラムのことで、インターネットや電子メールなどを通じて感染する可能性があります。コンピュータウイルスに感染すると、パソコンのプログラムやデータが破壊されるばかりでなく、他のパソコンへの感染元となってしまう可能性もあります。
モデルによってはコンピュータウイルスの予防と駆除をするためのソフトが添付されていますので、定期的なチェックをおこなうことをおすすめします。
また、日々増え続けるウイルスに対応するためには、「ウイルス定義ファイル」の更新が必要です。

■ DVD、CD 取り扱い上の注意

● DVD や CD などのディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

・ データ面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。
・ ディスクにラベルを貼ったり、傷を付けたりしないでください。
・ ディスクに文字を書く場合はディスク印刷面（レーベル面）に書いてください。ボールペンや鉛筆などペン先が硬いものは避け、フェルトペンなどペン先が柔らかい油性の筆記用具で手書きをするか、インクジェットプリンタ対応のディスクを使用して、インクジェットプリンタで直接印刷してください。
・ 上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
・ 汚れた DVD や CD などのディスクは使わないでください。
・ 汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けてふいてください。
・ 清掃の際は CD 専用のスプレーをお使いください。
・ ベンジン、シンナーなどでふかないようにしてください。
・ ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
・ 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・ 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

■フロッピーディスク取り扱い上の注意

● フロッピーディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

・ フロッピーディスクを磁石に近づけないでください。フロッピーディスクが壊れると大切なデータやソフトウェアが使えなくなります。磁石はテレビやスピーカにも使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないようにしてください。
・ シャッターを開けて、中のディスクに触れないでください。
・ 汚れたフロッピーディスクは使わないでください。
・ フロッピーディスクにラベルを貼り付けた状態でラベルに鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしないでください。
・ 上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
・ ラベルは正しい位置に貼ってください。
・ 飲食、喫煙しながら使わないでください。
・ 溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
・ クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
・ ゴミやホコリが多い場所での使用は避けてください。
・ 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやホコリが多い所に置かないでください。

■メモリーカード取り扱い上の注意

●メモリーカードを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

- ・メモリーカードに添付の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- ・静電気による故障を防ぐため、静電気を放電してからメモリーカードを取り扱ってください。
- ・小型のメモリーカードなど、アダプタが必要なカードは、必ずアダプタを装着してください。
- ・メモリーカードは、方向を確かめて取り付けてください。
- ・メモリーカードスロットには、対応以外のメモリーカードを挿入しないでください。
- ・メモリーカードの読み込み／書き込み中は、本体や周辺機器のメモリーカードスロットからメモリーカードを取り出さないでください。
- ・メモリーカードやメモリーカードスロットの金属端子部分を触らないでください。
- ・汚れたメモリーカードは、汚れをとってから本体や周辺機器のメモリーカードスロットに取り付けてください。
- ・分解しないでください。
- ・上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
- ・溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
- ・クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
- ・ゴミやホコリが多い場所での使用は避けてください。
- ・使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- ・直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやホコリが多い所に置かないでください。
- ・長期期間使用しないときは、メモリーカードやアダプタを、メモリーカードスロットに取り付けたままにしないでください。
- ・メモリーカードには、添付の指定ラベル以外を貼らないでください。
- ・大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取ってください。

健康のために

パソコンを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状が起こりやすいと言われています。

・眼が疲れたり、重く感じる
・ものがぼやけてみえる
・疲れやすい
・頚（くび）から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じかたは、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

・1時間の作業につき10～15分の休息時間をとる
・休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

■良い作業姿勢をとりましょう

パソコンを使用する際の良い姿勢は、余分な力が入らない、リラックスできる姿勢と言われています。

・背もたれに背中が支えられるよう背すじを伸ばして椅子に座る
・両手を床とほぼ平行にキーボードに置く
・画面を目の高さより低くし、視線がやや下向きになるようにする



■機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、使いやすい状態にこまめに調節してください。

● ディスプレイの角度調節

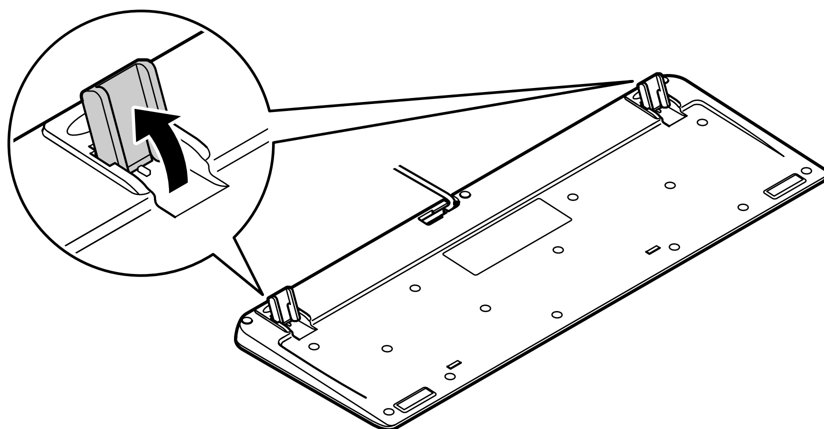
本機にセットのディスプレイは、上下、左右の角度調節ができるようになっています（一部のディスプレイを除く）。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。角度調節について詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

● 画面の輝度（明るさ）・コントラスト（濃淡）調節

個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度・コントラストは異なります。そのため、画面の輝度・コントラストは、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。
詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

● キーボードの角度調節

機種によっては、キーボードの角度調節ができるようになっています。好みによって、入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。
キーボードの角度調節をするときには、足を必ず両方とも立てて使用してください。



キーボード裏面

■機器を清掃しましょう

ディスプレイの画面は、ホコリなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因になりますので、定期的に清掃する必要があります。

■本機のお手入れ

本機のお手入れの方法については、このマニュアルの付録をご覧ください。

PART

1 このパソコンについて

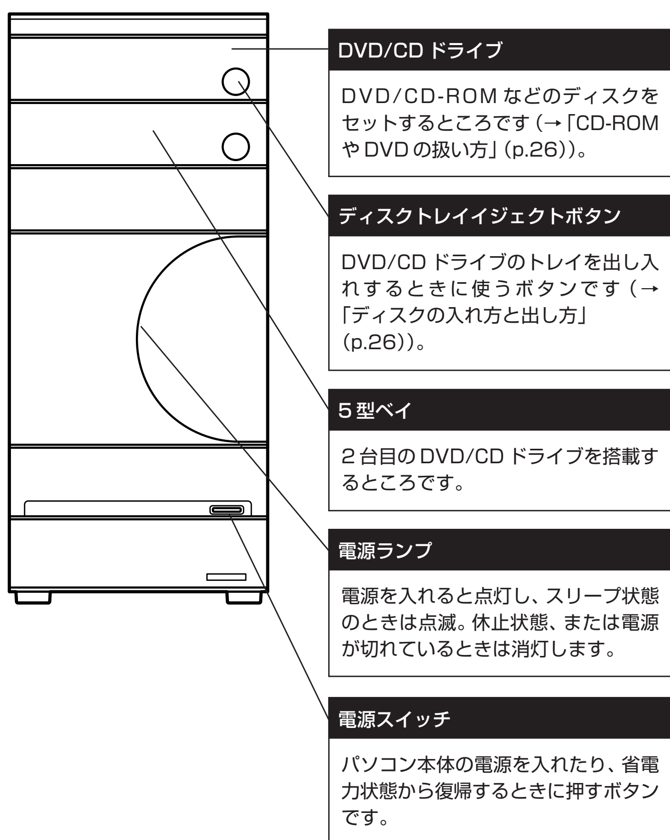
『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。使い始める前にぜひ、「お客様登録」をしてください。

パソコンを使う準備をする

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』または『ValueOne Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチ、DVD/CDドライブなどについて紹介します。

●本体前面

・ValueOne MT



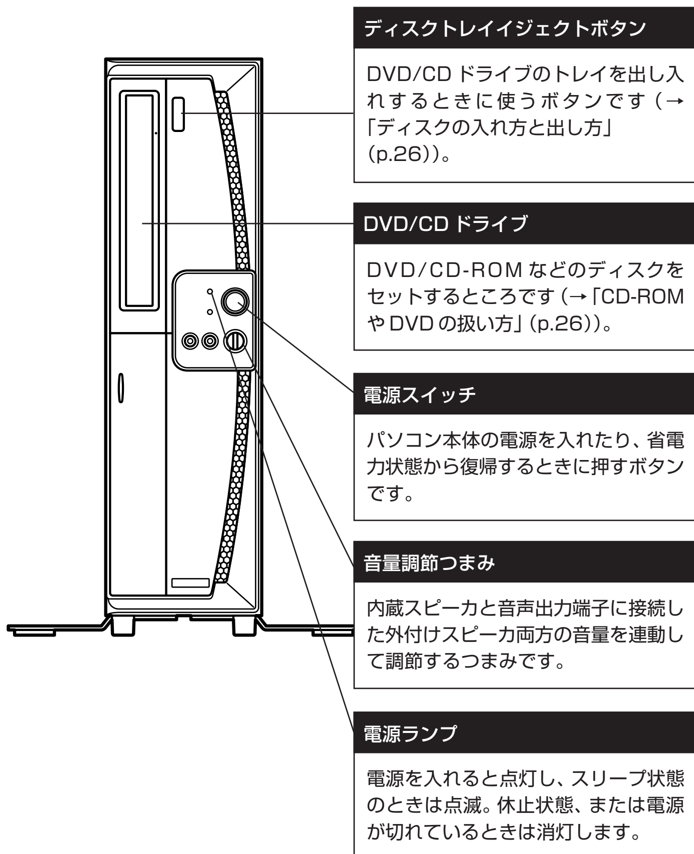
参照

パソコン各部の説明について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」

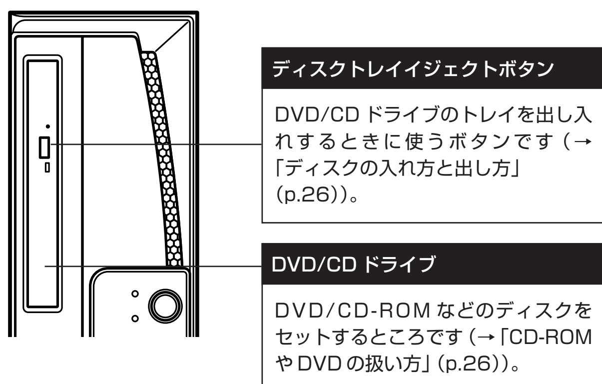
参照

5型ベイへのDVD/CDドライブの取り付け方について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコン内部に取り付ける」-「5型ベイ」

・ValueOne ST



セカンドハードディスクを選択された場合



参照

パソコン各部の説明について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」

チェック!!

- 工場出荷時の状態では、音量が最小になっていますので、このつまみで音量を調整してください。
- 外付けスピーカや液晶ディスプレイに内蔵されたスピーカから音が出ない場合はこのつまみで調整してみてください。

お客様登録のお願い

お客様登録はこれからパソコンを安心・快適にお使いいただく上で非常に重要です。NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com（ワントゥワンウェア・ドット・コム）」では、お客様登録されたかたに充実したサポート・サービスを提供しております。この機会に是非ご登録ください。
※ 法人のお客様としてご使用の場合も、ご登録をおすすめします。

登録料・会費無料

ご登録の特典

特典１　電話サポート

商品についての電話相談窓口「121コンタクトセンター」へ使い方について相談できます。
詳しくは『121wareガイドブック』をご覧ください。

特典２　メールサービス

ご利用製品のサポート情報やキャンペーンのご案内などをメールマガジンでお届けいたします。
詳しくは『121wareガイドブック』をご覧ください。

特典３　インターネットサポート

121ware.comで「ログインID」を取得していただきますと、さまざまなサポート・サービスをご利用いただけます。詳しくは『121wareガイドブック』をご覧ください。
ログインIDは、「121ware.com」（http://121ware.com/）およびNECショッピングサイト「NEC Direct」（http://www.necdirect.jp/）で共通にご利用いただけるIDです。取得方法については『121wareガイドブック』をご覧ください。

◆ 121ware.comでご利用いただけるサポート・サービス

ログインIDをご登録いただくと…	【使い方相談】の電話サポートが受けられる	お客様とNECとのコンタクト履歴がわかる	インターネットから修理の申し込みができる	【買取サービス】の申し込みができる
ログインIDとE-mailアドレスをご登録いただくと…	121オリジナルメールマガジンをお届け！	「NEC Direct」※でお得にお買い物！	※日本電気(株)が運営するショッピングサイトです。	
ログインIDと保有商品をご登録いただくと…	保有商品の情報をすばやくGET！	保有商品に関するQ&A情報をすばやくGET！	保有商品に合うモジュールをすばやくGET！	パソコンを最新の状態に！「自動アップデート」
ほかにもいろいろなサービスが！	インターネットから電話サポート予約サービス！	お役立ち情報フォローアップメールサービス！		

最新情報・詳細につきましては、インターネットでご確認ください。

お客様登録の方法

お客様登録をして、電話の問い合わせのときに必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる際に必要な「ログイン ID」を取得してください。
ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

インターネットによる登録をおすすめします。
「121wareお客様登録番号」と「ログインID」を同時に取得でき、すぐにインターネットサポートが受けられます。
まだインターネットをお使いになれないお客様にはFAX登録をご用意しております。ただし、FAX 登録からでは「121ware お客様登録番号」のみの取得となり、インターネットでのさまざまなサービスがご利用いただけません。
インターネットが使えるようになり次第、「ログインID」の取得をおすすめします。

インターネット登録（推奨）

インターネットに接続して、NEC パーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイアカウント（http://121ware.com/my/）から登録します。詳しくは、『121ware ガイドブック』をご覧ください。

FAX 登録

お手持ちのFAXから「0120-977-121」（フリーコール）に電話します。
ご希望の窓口案内のアナウンスが流れますので、FAX情報サービス窓口番号である9番を押します。
FAX情報サービスにつながりますので、アナウンスにしたがい、BOX番号3002と#を押し、お客様登録用紙を取り出してください。必要事項をご記入の上、FAX でお送りください。

チェック!!

登録の前に、インターネット接続の設定が必要です。

FAX 用紙は NEC パソコン情報 FAX サービスから取り出してください。
電話番号はよくお確かめになり、お間違えのないようにおかけください。

CD-ROMやDVDの扱い方

このパソコンのDVD/CDドライブで使えるディスクの種類や取り扱い上の注意、ディスクのセットのしかたを説明します。

ディスクの取り扱い上の注意

・使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。
・ラベルやテープが貼られているなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、使用時の振動や故障の原因になります。
・このパソコンにインストールされているOS以外のOSに対応したCDやDVDは、使えないものがあるため、ご購入前に確認してください。

参照

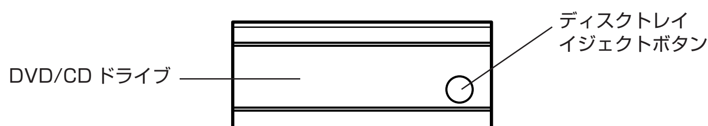
このパソコンで使えるディスクについて→ 「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」、「DVD/CDドライブ」

ディスクの入れ方と出し方

●ディスクを入れる方法

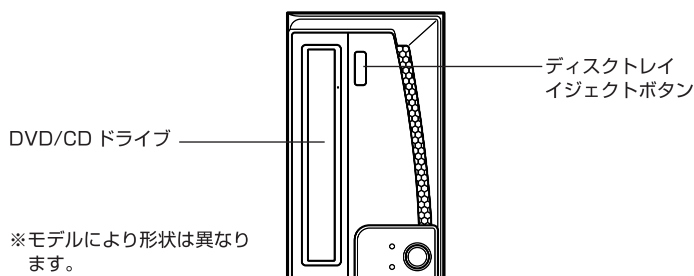
1 ディスクトレイイジェクトボタンを押す

・ValueOne MT



DVD/CDドライブのカバーが開いてディスクトレイが出てきます。

・ValueOne ST



ディスクトレイが出てきます。

チェック!!

・ディスクトレイの出し入れは、本体の電源が入っているときのみおこなえます。
・ValueOne MTのDVD/CDドライブのカバーは、ディスクトレイイジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れることがあります。

チェック!!

セカンドハードディスクを選択された場合は、DVD/CDドライブの形状とディスクトレイイジェクトボタンの位置が異なります。「パソコンを使う準備をする」のValueOne STの項目(p.23)をご覧ください。

2 ディスクのラベル面(文字などが印刷されている面)を上または左にしてディスクトレイにセットする

3 ディスクトレイを軽く押す

ディスクトレイが収納されます。

ValueOne MTの場合は、DVD/CDドライブのカバーも閉じます。

●ディスクを取り出す方法

1 ディスクトレイイジェクトボタンを押す

2 ディスクトレイからディスクを取り出す

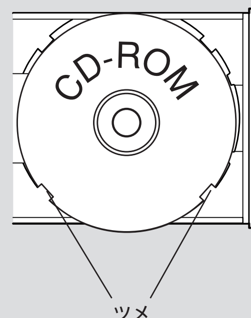
3 ディスクトレイを軽く押す

ディスクトレイが収納されます。

ValueOne MTの場合は、DVD/CDドライブのカバーも閉じます。

チェック!!

・ValueOne ST にてディスクをセットする際は、ディスクが落ちないよう、ディスクトレイのツメに引っかけてください。



チェック!!

ディスクトレイから取り出すときに、ディスクを落としたり、傷を付けたりしないように注意してください。

スリープボタンについて

このパソコンに添付されているキーボードの【スリープ】ボタンを押すことで、パソコンを省電力状態にすることができます。

「電源オプションのプロパティ」について

【スリープ】ボタンを押したときの動作を変更することができます。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとメンテナンス」-「電源ボタンの動作の変更」をクリック**

次の画面が表示されます。



2 **「スリープボタンを押したときの動作」から項目を選択し、「変更の保存」をクリック**

参照

・キーボードについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「キーボード」
・省電力機能について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

チェック!!

初回セットアップ、または再セットアップ直後は、手順 1 の画面に「スリープボタンを押したときの動作」が表示されません。表示する場合は、一度【スリープ】ボタンを押してください。その後、省電力状態を解除し、再び手順 1 の画面を表示すると項目が表示されます。

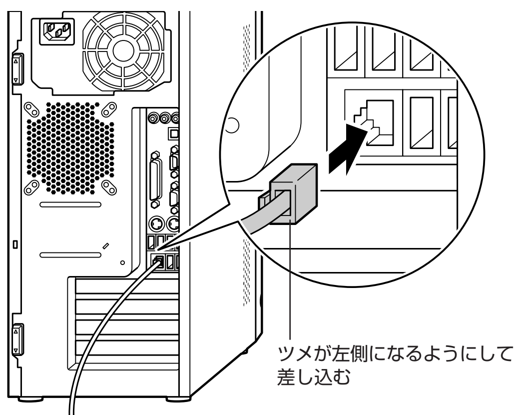
インターネットに接続する

このパソコンで、インターネットに接続する方法について説明します。

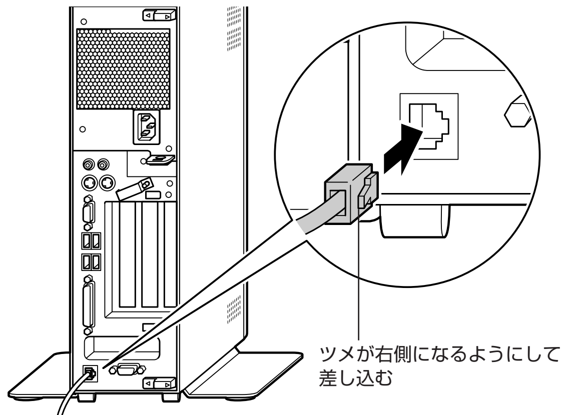
機器の接続について

ADSLやFTTHなどのブロードバンド回線を使って、インターネットに接続するには、このパソコンのLANコネクタを使用します。

・ValueOne MTの場合



・ValueOne STの場合



このほか、ValueOne MTのFAXモデムボードが内蔵されたモデルでは、ダイヤルアップ接続を利用してインターネットに接続することもできます。

参照

・LANコネクタについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「LAN」
・FAXモデムについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「FAXモデム」

インターネットの設定について

機器の接続が終わったら、インターネットの設定をおこないます。
契約している各プロバイダの資料または、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「インターネットに接続する」と入力して検索してください。

パソコンを安全に使うための設定について

ウイルスによる被害を防いだり、お子様を有害なホームページから守るための設定などについては、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「安全に使うためのポイント」をご覧ください。

PART

2
再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。
再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。
ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

1 **デスクトップ画面右下の通知領域にあるを右クリックし、「検索開始」をクリック**

アイコンが表示されていないときは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター2007」の「ウイルスバスターを起動」をクリックしてください。「ウイルスバスター」のメイン画面が表示されたら「検索開始」をクリックしてください。

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

チェック!!

ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料で最新のウイルススキャンやウイルスパターンファイルにアップデートをおこなうことができます。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」をご覧ください。

●セーフモードでパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す

4 「Windows ブートマネージャ」が表示されたら、【F8】を押す

5 「詳細ブートオプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフモード」を選び、【Enter】を押す

6 ユーザー選択の画面が表示されたら、「他のユーザー」をクリックし、自分のユーザー名を入力してログオンする

これで、パソコンはセーフモードで起動しました。

> この方法でトラブルが解決しなかった場合は、次の「データのバックアップを取る」(p.34) で大切なデータをバックアップした後で、「システムの修復を試みる」(p.34) へ進んでください。

メモ

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。
セーフモードについて、詳しくは「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

チェック!!

- セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。
- 手順３で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。
- 手順4で「Windowsブートマネージャ」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。
- セーフモードで起動した後、「スタート」-「▸」-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

●データのバックアップを取る

パソコンでトラブルが起きたとき、Windowsそのものやこのパソコンに添付のソフトは、システムの修復や再セットアップで復元する（正常な状態に戻す）ことができますが、自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などはもとには戻せません。大切なデータを失わないためには、これらの方法をおこなう前にDドライブ、BD-R/RE、DVD-RAM、DVD-R/RW、およびCD-R/RWディスクなどに、必ずデータのバックアップを取ってください。

メモ

Dドライブは、ハードディスクの中にありますが、システムの修復やCドライブのみ再セットアップをおこなうときには影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

チェック!!

Cドライブの領域を変更して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。別途CD-R/RWディスクなどへデータのバックアップを取っておいてください。

●システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」などに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック

2 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「続行」をクリック

3 「システムの復元」の画面が表示されたら、「推奨される復元」が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリック

別の復元ポイントを使う場合は、「別の復元ポイントを選択する」を◉にして「次へ」をクリックし、次の画面で使用する復元ポイントを選んでから「次へ」をクリックしてください。

4 「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック

5 確認の画面が表示されたら「はい」をクリック

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

6 「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック

これで、システムの修復は完了です。

チェック!!

- システムの修復をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの修復をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」（p.33）でセーフモードで起動した後、システムの復元をおこなってみてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」（p.35）の手順7で、「システムの復元」をクリックしてください。

チェック!!

セーフモードで起動したときは、復元ポイントの作成はできません。

・「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する
セーフモードでもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できないときでも、次の操作で起動できることがあります。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す**

3 **「Windows ブートマネージャ」が表示されたら、【F8】を押す**

4 **「詳細ブートオプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す**

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

・「スタートアップ修復」を使う
パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す**

3 **「Windows ブートマネージャ」が表示されたら、【F8】を押す**

4 **「詳細ブートオプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピュータの修復」を選び、【Enter】を押す**

5 **「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック**

6 **自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック**

7 **「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック**

「スタートアップ修復」が始まります。

8 **修復が終わったら「完了」をクリック**

9 **「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する**

チェック!!

・手順2で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。
・手順3で「Windowsブートマネージャ」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

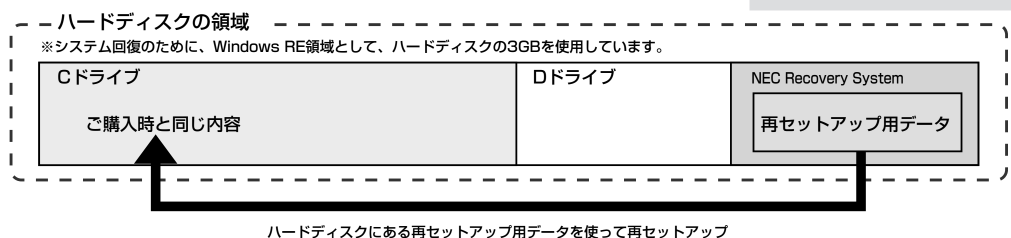
チェック!!

・手順2で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。
・手順3で「Windowsブートマネージャ」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

このパソコンのハードディスクにあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータを、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。



この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。
RAIDの設定が初期化されたり、消失することはありません。

●こんなことができます

・Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます
　Dドライブのデータは保護されます。

●こんなかたにおすすめ

・再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
・まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続しておこないます。項目によっては（　）内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットやLANの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS（バイオス）の設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ
6. 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り外す
7. システムを再セットアップする（約1時間）
8. Windowsの設定をする（約30分）

チェック!!
再セットアップは中断しないでください。

9. Office Personal 2007またはOffice Personal 2007 with PowerPoint 2007を再セットアップする（約10分）
 ：Office 2007モデルのみ
10. 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす
11. インターネット接続の設定などをやりなおす
12. 別売のソフトをインストールしなおす
13. バックアップを取ったデータを復元する

> 再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。再セットアップすると、Cドライブに保存してあるデータはすべて失われます。



参照

バックアップについて→「データのバックアップを取る」（p.34）

1. 必要なものを準備する

再セットアップの作業を始める前に、このパソコンに添付されている『ユーザーズマニュアル』（このマニュアル）を準備してください。
また、このパソコンのご購入後にお客様ご自身でインストールしたソフトを使うときは、そのソフトのインストールが必要です。使用するソフトに添付のマニュアルをご覧になり、インストールに必要なものを準備してください。

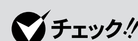
2. バックアップを取ったデータを確認する

「データのバックアップを取る」（p.34）でバックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。万一、バックアップに失敗しているものがあったり、バックアップを取り忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取りなおしてください。

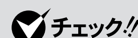
3. インターネットやLANの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ユーザーID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- メールサーバ
- ニュースサーバ
- アクセスポイントの電話番号（ダイヤルアップ接続の場合）



再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、後で設定しなおしてください。



受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップをおこなうと消えてしまいます。必要な場合は、メールやURLファイルのバックアップを取っておいてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー１」の欄に控えておきます。

	ユーザー名
ユーザー１（１人目）	
ユーザー２（２人目）	
ユーザー３（３人目）	
ユーザー４（４人目）	

5. BIOSの設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、BIOSの設定を初期値（デフォルト値）に戻してください。なお、初期値に戻す前に、現在の設定内容をメモに取るなどして控えておくことをおすすめします。

6. 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているモジュラケーブルやLANケーブルも取り外してください。

7. システムを再セットアップする

1 パソコン本体の電源を切る
通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

4 「Windows Vista 再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

5 「Cドライブのみ再セットアップ」をクリック

チェック!!

家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。

チェック!!

ユーザー名を控えるときには、次の点に注意してください。
- 大文字と小文字の区別に注意
- 全角と半角の区別に注意
- 入力ミスに注意（数字の「1」とアルファベットの「l」（エル）など）

チェック!!

BIOSの設定を初期値に戻すには、PART3の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」（p.63）をご覧になり、手順２からおこなってください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

チェック!!

- 手順3で「NEC」のロゴが表示されず【F11】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F11】を何度か押してください。
- 手順４で画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順２からやりなおしてください。

6 **確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック**

再セットアップが始まります。再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

7 **「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック**

「再起動」をクリックしてパソコンが再起動されたら、次の「8.Windowsの設定をする」に進んでください。

8. Windows の設定をする

1 **「Windowsのセットアップ」の画面が表示されていることを確認する**



2 **何も設定を変更せずに「次へ」をクリック**

3 **「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、「ライセンス条項に同意します」をクリックして□を☑にして、「次へ」をクリック**

4 **「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力して、「次へ」をクリック**

ユーザーアイコンは、どの画像を選択してもかまいません。

5 **「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されたら、背景を選んで「次へ」をクリック**

「ValueOne」など好みの名前を入力してもかまいません。また、再セットアップする前に付けていた名前と異なるものを入力してもかまいません。

6 **「Windows を自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」をクリック**

7 **「ありがとうございます」と表示されたら、「開始」をクリック**

しばらくすると、何度か再起動して「121ポップリンクの設定」と表示されます。

8 **「121ポップリンクの設定」が表示されたら、「利用する」が◉になっていることを確認し、[➡]をクリック**

しばらくすると、再起動して「ウイルスバスター2007」と表示されます。

チェック!!

「C ドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは「戻る」をクリックし、手順 5 からやりなおしてください。

チェック!!

手順 7 で「パソコンを再起動します」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。前ページの手順 1 からやりなおしてください。

メモ

121 ポップリンクは、お使いの機種に適した最新情報を NEC からインターネット経由でお届けするサービスです。

9 「ウイルスバスター2007」が表示されたら、内容をよく読んで、「使用許諾契約の条項に同意します」の◯をクリックして◉にして、「次へ」をクリック

10 「オンラインデータベースサービスのご利用について」と表示されたら、「完了」をクリック

11 「システムへの変更を有効にするには、コンピュータの再起動が必要です」と表示されたら、「OK」をクリック

パソコンが再起動します。しばらくすると、「ウェルカムセンター」が表示されます。
これでWindowsの設定は終了です。

Office 2007モデルの場合は、次の「9.Office Personal 2007またはOffice Personal 2007 with PowerPoint 2007を再セットアップする(Office 2007モデルのみ)」に進んでください。
その他のモデルの場合は、「10.別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす」(p.41)に進んでください。

9. Office Personal 2007またはOffice Personal 2007 with PowerPoint 2007を再セットアップする(Office 2007モデルのみ)

1 Office Personal 2007のインストールCD-ROMをセットする

「自動再生」が表示されます。

2 「SETUP.EXEの実行」をクリック

3 プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリック

「プロダクトキー」は、CD-ROMケースの裏面に貼ってあるシールに記載されています。

4 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」が表示されたら「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意します」の☐を☑にして「次へ」をクリック

5 「今すぐインストール」をクリック

インストールが始まります。

6 正常にインストールされた旨のメッセージが表示されたら「閉じる」をクリック

インストールCD-ROMをDVD/CDドライブから取り出してください。

これでインストールは終了です。

チェック!!

Windowsの設定が終了したら、セキュリティ対策のため、Windowsのパスワードを設定することをおすすめします。

参照

Windowsのパスワードを設定する
→『セットアップマニュアル』の「パソコンを守るために」

チェック!!

手順の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」または「許可」をクリックしてください。

メモ

手順1で「自動再生」が表示されない場合は、「スタート」-「コンピュータ」をクリックし、DVD/CDドライブのアイコンをダブルクリックして、手順3に進んでください。

チェック!!

Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデルの場合は、PowerPoint 2007のインストールCD-ROMに入れ替えて、再度インストールの手順をおこなってください。

●再セットアップ後、Office Personal 2007やPowerPoint 2007 を最初に使用するとき

Outlook 2007 や Word 2007、PowerPoint 2007 などのソフトを最初に使用するときは、「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示されます。この場合は、条項の内容に同意のうえ「同意する」をクリックし、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

10. 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

チェック!!

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、ご利用の周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

11. インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ（入会申し込み）をやりなおす必要はありません。

12. 別売のソフトをインストールしなおす

パソコンに別売のソフトをインストールしていた場合は、それぞれのソフトに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

13. バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.34)でバックアップしたデータを復元してください。

これで再セットアップの作業は完了です。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコンのハードディスクにあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする（Cドライブのみ）」（p.36）をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

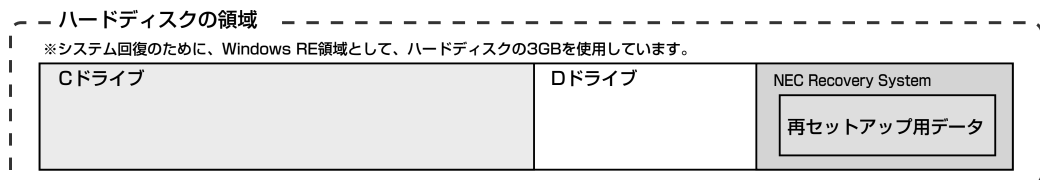
Cドライブの領域サイズを30Gバイトから1Gバイト単位で変更できます。Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。なお、2台のハードディスクが搭載されたモデルの場合、Eドライブの内容は変わりません。

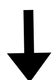
チェック!!

この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、CD-R/RWディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。

Cドライブのサイズを変更できます。

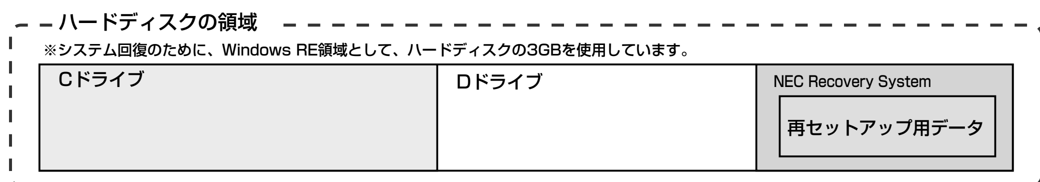
＜ご購入時の状態＞





Cドライブのサイズを変更できる

＜再セットアップ後の状態＞



●こんなことができます

・C ドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
・ハードディスクの領域を変更したいかた

再セットアップ手順

1 **このPARTの「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.36)をご覧になり、「1.必要なものを準備する」〜「7.システムを再セットアップする」の手順1〜4までの作業をおこなう**

2 **「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック**

3 **「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。
再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.39)以降の説明を参考にしてください。

チェック!!

C ドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、D ドライブのない構成になります。
また、2 台のハードディスクが搭載されたモデルの場合は、E ドライブだったハードディスクはD ドライブになります。

チェック!!

・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
・再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

再セットアップディスクを作成する

このパソコンには「再セットアップディスク」は添付されていません。次ページの「再セットアップディスクの作成」をご覧になり、ご自分で作成していただく必要があります。

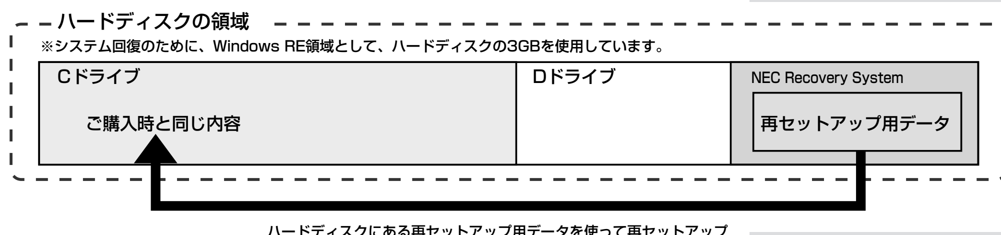
ここでは、このパソコンで作成することができる「再セットアップディスク」の概要とその作り方について説明しています。

チェック!!

CD-ROMモデルの場合、再セットアップ用ディスクは作成できません。再セットアップが必要なときは、この次の「再セットアップディスクの作成」の「準備」をご覧になり、作成済みの再セットアップ用CD-ROMをお求めください。

再セットアップディスクとは

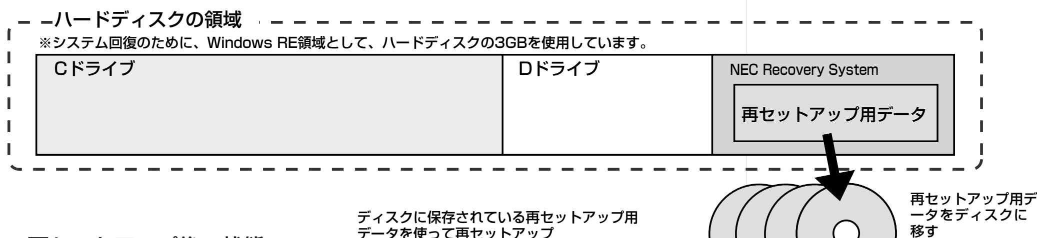
このパソコンは、次のように、ハードディスク内の「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データを使って、再セットアップをおこなうしくみになっています。



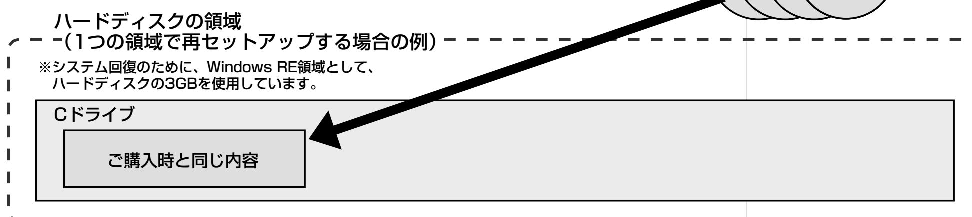
ハードディスクにある再セットアップ用データを使って再セットアップ

通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.36)をご覧になり、上記の方法で再セットアップしてください。
そのほかに、ここで作成する「再セットアップディスク」を使った再セットアップ方法が利用できます。

＜ご購入時の状態＞



＜再セットアップ後の状態＞



再セットアップディスクの作成

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップディスクを作成します。

準備

DVD-R/+R ディスクまたは CD-R ディスクへのデータ書き込みには「Roxio Easy Media Creator® 9」というソフトが必要です。このパソコンにあらかじめインストールされていますが、削除してしまっているときは、追加しておいてください。

再セットアップディスクを作成するために必要なディスクの枚数は、お使いのモデルによって異なります。「再セットアップディスクの作成手順」の手順２（p.44）の画面に表示される枚数をご確認になり、必要な枚数の未使用のDVD-R/+R ディスクまたはCD-R ディスクを用意してください。

・必ず次の容量のディスクを用意してください。
　CD-R ディスクの場合：700M バイトまたは 650M バイトのもの
　DVD-R/+R ディスクの場合：4.7G バイトのもの
　DVD-R/+R（2 層）ディスクの場合：8.5G バイトのもの
・DVD-R/+R ディスク、またはDVD-R/+R（2 層）ディスクを使用する場合、1 枚目以外は同じ種類のディスクを用意してください。
・次のディスクは使用できません。
　CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-R、BD-RE
・作成済みの再セットアップディスクの販売もしています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
　URL：http://nx-media.ssnet.co.jp/

また、作成にはCD1 枚につき最大約30分、DVD1 枚につき最大約100分かかります。

チェック!!

CD-ROMモデルの場合、パソコンに「再セットアップディスク作成ツール」は入っていません。

参照

「Roxio Easy Media Creator® 9」を追加する→ 「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフトの追加と削除」

作成時の注意

再セットアップディスクの作成中にほかのソフトが起動していると、ディスクへの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成を開始する前に、次の操作をおこなってください。

- ・スクリーンセーバーが起動しないようにする
- ・起動中のソフトをすべて終了する
- ・常駐プログラム（ウイルス対策ソフトなど）をすべて終了する

チェック!!

- ・再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。
- ・「再セットアップ領域」（NEC Recovery System）に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリックすると、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
  - －再セットアップディスクを使用して「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をおこなった場合
  - －手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

再セットアップディスクの作成手順

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック**

2 **次の画面が表示されたら、ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック**

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。



3 **次の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**



4 **用意したディスクをセットする**

CD/ハードディスクアクセスランプが消えるまで待ってください。

5 **「作成開始」をクリック**

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。

書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

6 **「OK」をクリック**

7 **ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入する**

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

チェック!!

・手順の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」または「許可」をクリックしてください。
・DVD-R/+Rディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-Rディスクで作成できます。
・DVD-R/+R（2層）ディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-RディスクまたはDVD-R/+Rディスクで作成できます。
・マルチプレードライブモデルの場合は画面の表示が異なり、CD-Rディスクのみとなります。

メモ

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、手順3の画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

チェック!!

・「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
・書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

チェック!!

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクを使ってできることを説明します。

再セットアップディスクで可能なこと

「再セットアップディスク」を使った再セットアップでは、目的に応じて、次の再セットアップなどをおこなうことができます。

◆ C ドライブのみ再セットアップ

ハードディスクのCドライブの領域のみを再セットアップします。Dドライブなど、C ドライブ以外の領域に保存されていたデータは、再セットアップ前の状態のまま残すことができます。

◆ C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

C ドライブの領域サイズを30Gバイトから1Gバイト単位で設定できます。D ドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

なお、2 台のハードディスクが搭載されたモデルの場合、E ドライブの内容は変わりません。

この方法で再セットアップすると、ご購入時に NEC Recovery System に入っていた再セットアップ用データが失われます。

作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。

◆ ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ

Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約3時間かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

ただし、2 台のハードディスクが搭載されたモデルの場合、E ドライブの内容は、この方法で再セットアップしても変わりません。

この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容は C ドライブ、D ドライブともにすべて失われます。

チェック!!

- ハードディスクの状態をご購入時から変更(ダイナミックディスクなど) した場合、「再セットアップディスク」を使って、C ドライブのみ再セットアップすることはできません。
- 再セットアップすると、大切なデータや設定内容の多くが失われてしまいます。再セットアップを始める前に、大切なデータはバックアップを取っておいてください。
- 読み込み可能な DVD/CD ドライブを 2 台搭載している場合、どちらか一方のみを使用してください。2 台のドライブでの同時読み込みはできません。また、ディスクを次の順番のものに取り替えるときに別のドライブにセットすることはできません。
- 再セットアップディスクが DVD ±R、またはDVD±R(2層)の場合は、そのディスクを読み込み可能なドライブにセットしてください。
- C ドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。また、2 台のハードディスクが搭載されたモデルの場合は、E ドライブだったハードディスクはD ドライブになります。

◆ **ハードディスクのデータ消去**

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows Vista標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄するときにご利用ください。

消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。

また、ハードディスクのデータ消去方式は次の2つの方式があります。

・かんたんモード(1 回消去)
ハードディスク全体を「00」のデータで1 回上書きします。復元ソフトによるデータの復元ができなくなります。

・しっかりモード(3 回消去)
米国国防総省NSA 準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ 1、ランダムデータ 2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。
ただし、3 回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3 倍の時間がかかります。

この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。データの復元が完全にできないことの証明が必要な場合は、NECフィールディング株式会社に有償のデータ消去を依頼してください。

NEC フィールディングホームページ
URL: http://www.fielding.co.jp/

◆ **RAID 構成を変更する(RAID モデルのみ)**

このパソコンのRAID 構成を変更します。RAID 構成を変更するとハードディスクに保存されていたデータはすべて消去されてしまいます。必要なデータは事前にCD-R/RW ディスクなどにバックアップを作成しておいてください。

チェック!!

RAID構成を変更する場合、レベルによって必要なハードディスクの数が異なります。詳しくは、付録の「RAID 機能について(ValueOne MTのRAIDモデルのみ)」(p.70)をご覧になり、確認してください。

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

再セットアップディスクから再セットアップをおこなうときは、次の手順で操作してください。

1 作成した再セットアップディスクを用意する

2 「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.36)をご覧になり、「1. 必要なものを準備する」〜「6. 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す」の作業をおこなう

3 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる

4 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

5 「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

6 目的の再セットアップのボタンをクリック

7 以降は、画面の指示にしたがって操作する

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

8 再セットアップが終了したら、再セットアップディスクを取り出して、「再起動」をクリック

パソコンが再起動します。

9 パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されたら、「8. Windowsの設定をする」(p.39)以降の操作をおこなってください

「13. バックアップを取ったデータを復元する」(p.41)の操作まで終われば、再セットアップの作業は完了です。

「RAID 構成を変更する」を選んで RAID 構成を変更する場合
手順8では、画面の指示にしたがって再セットアップディスクの1枚目をDVD/CD ドライブにセットしてから「再起動」をクリックしてください。その後「Windows Vista 再セットアップ」の画面で「再セットアップ」をクリックし、「C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」または「ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻して再セットアップ」を選択してください。

「ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ」をする場合
手順8で「再起動」をクリックすると、再起動後に再び「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されます。「次へ」をクリックし、後は画面にしたがって作業を進めてください。再び、「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、再セットアップディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動し、「Windowsのセットアップ」の画面が表示されますので、手順9へ進んでください。

チェック!!

手順5で「Windows Vista再セットアップ」の画面が表示されずに、通常の Windows デスクトップが表示されてしまったときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。

チェック!!

・ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。
・再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。再セットアップの進行中に数回「ピー」と音がすることがありますが、これは再セットアップ処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

チェック!!

・処理が終了したことを示す画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。手順3から操作をやりなおしてください。

PART

3

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。
パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いて、NEC にご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、マウスを動かしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。
電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windows をいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇この PART「トラブル解決 Q&A」

◇このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windows の「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NEC のパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/をご覧ください。



◇マイクロソフトサポート技術情報

Windowsに関するトラブル情報が検索できます。
http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JAをご覧ください。

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECのサポート窓口「121コンタクトセンター」については、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

「サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」を活用してください。

「サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法



画面左にある「サポートナビゲーター（電子マニュアル）」アイコンをダブルクリック



次に「サポートナビゲーター」の「解決する」をクリック

●使い方



画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。
特に「使いこなす」-「パソコン各部の説明」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、本体カバーの開け方/メモリの増設/各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱を持ったとき、変なにおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源ケーブルを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源ケーブルをコンセントから抜き、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、なにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題はありません。
ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを実行してください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照

- ディスクデフラグ、ディスククリーンアップについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ディスク デフラグ ツール」-「ディスク クリーンアップ」
- NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
あまりにも異常な音がするときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

音が出ない

ValueOne STの音量は本体前面の音量つまみで調整できます。工場出荷時の状態では音量が最小になっていますので、音量調節つまみで音量を調整してください。

外付けスピーカを接続しても内蔵スピーカから音が出る

ValueOne STの音声出力端子に外付けスピーカやスピーカ内蔵液晶ディスプレイを接続した場合でも本体内蔵スピーカから音声が出力されます。本体前面のヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続すれば、内蔵スピーカからの音は出なくなります。

急に動かなくなった、フリーズした

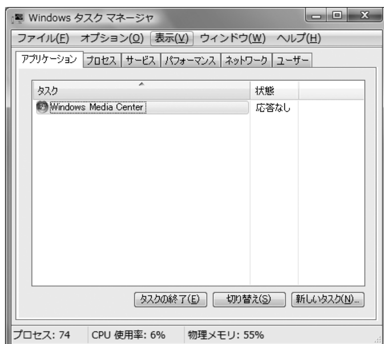
ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

異常が起きているソフトを終了させる

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を1回押す

2 「タスクマネージャの起動」をクリック

3 右側に「応答なし」と表示されているタスク(ソフト)をクリックして、「タスクの終了」をクリック



この方法でソフトが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

チェック!!

動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態やCD/ハードディスクアクセスランプが点灯していないかなどをよく確認しましょう。

メモ

画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.59)をご覧ください。

チェック!!

・「Windows タスクマネージャ」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
・ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

強制的に電源を切る

1 **パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける**

通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。

2 **5秒以上待ってから、電源スイッチを押す**

パソコンの電源が入り、場合によっては、「ディスクのチェック」が自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。「ディスクのチェック」で異常が発見されなかったときや、「ディスクのチェック」が実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。

3 **「スタート」をクリックし、▶をクリック**

4 **「シャットダウン」をクリック**

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度電源スイッチを押し続けてください。パソコンの電源ランプが点滅している場合は、いったんパソコンの電源コンセントを抜いてから、電源コンセントを入れなおしてみてください。

それでもトラブルが解決しないときは、「PART2 再セットアップ」(p.31)をご覧になり、システムの修復または再セットアップをおこなってください。

チェック!!

- 頻繁に強制終了をおこなうとハードディスクが故障することがあります。
- 強制終了をおこなうと直後の再起動時に「ディスクのチェック」が自動的に起動することがあります。

チェック!!

- 「ディスクのチェック」の結果、何かメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。うまく起動できなかった場合は、「PART2 再セットアップ」(p.31)をご覧になり、システムの修復または再セットアップをおこなってください。

チェック!!

RAID1、RAID5 を構成しているパソコンで強制的に電源を切ったとき、直後の起動時に RAID ボリュームの初期化または「確認および修復」がおこなわれる場合があります。

マウス、キーボード

マウスやキーボードが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

マウスを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い

マウスポインタが◎の形に変わっていませんか?

マウスポインタが◎の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボードの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

マウスは正しく取り付けられていますか？

マウスがパソコン本体背面のマウスコネクタにしっかり接続されていないと、マウスが正しく動作しません。
『セットアップマニュアル』をご覧になり、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

キーボードは正しく取り付けられていますか？

キーボードとパソコン本体がしっかり接続されていないと、キーボードが正しく動作しません。
『セットアップマニュアル』をご覧になり、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

しばらく待っても、マウスやキーボードの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.55)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やCD/ハードディスクアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

マウスが正しく動作しない

このパソコンのマウスの中にはボールが入っていて、ボールの動きに応じてマウスポインタが動きます。マウスの内部が汚れているとボールが正常に動きにくくなり、その結果マウスが正しく動作しなくなることがあります。
マウスの動きが引っかかるような場合は、付録の「パソコンのお手入れ」(p.78)をご覧になり、マウスの掃除をしてください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、マウス、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になります。

マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などでふき取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

参照

・マウス、キーボードのお手入れ→付録の「パソコンのお手入れ」(p.78)
・NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体に電荷が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

1 電源ケーブルをコンセントから抜く

2 パソコン本体の電源スイッチを2、3回押す
電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で電源スイッチを2、3回押すことで、本体に帯電した電荷が放電されます。

3 そのまましばらく放置した後(30秒程度)、電源ケーブルを正しく接続しなおす

4 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

チェック!!

放電を確実におこなうため、電源ケーブルはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

電源ケーブルをまちがって抜いた、停電で急に電源が切れた

おちついて電源ケーブルを差し込んで、パソコンの電源を入れなおしてください。
普段どおりパソコンが起動して、Windowsの画面が表示されれば大丈夫です。
おかしな画面が表示されたときは、この後の項目からその現象を探してください。

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

DVD/CD-ROMやフロッピーディスクなどがDVD/CDドライブやフロッピーディスクドライブにセットされている場合は、すべて取り出してから電源を切ってください。

正しい電源の切り方

1 「スタート」をクリックし、 をクリック

2 「シャットダウン」をクリック
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.55)をご覧になり、異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」(p.56)の操作をおこなってください。

チェック!!
電話回線を使うソフトを起動しているときは、ソフトを終了させてから電源を切ってください。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプ、ディスプレイの電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えている、または点滅しているとき

パソコン本体の電源スイッチを押してください。
画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時には20分間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

チェック!!
電源が入っているとき(省電力状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなります。

☹➡☺ パソコン本体の電源ケーブルなどは正しく接続されていますか？

一度、電源ケーブルをコンセントから抜き、『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
電源ケーブルなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

参照
NEC 121 コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

パソコン本体の電源ランプが点灯しているとき

☹➡☺ キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、マウスを軽く動かしてみてください。

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

☹➡☺ フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。

メモ
フロッピーディスクや CD-ROM から起動したいときは、システムファイルが入ったものと入れ替えてから、電源を入れなおしてください。

☹➡☺ ディスプレイの電源ランプが消えていませんか？

液晶ディスプレイセットモデルの場合、ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、いったんパソコン本体の電源を切ります。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れなおしてください。

☹➡☺ ディスプレイの輝度(明るさ)が小さくなっていませんか？

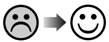
ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、画面の輝度(明るさ)を調節してください。

☹➡☺ パソコン起動後にディスプレイの接続をおこなっていませんか？

パソコン起動後にディスプレイを接続してもディスプレイには何も表示されないことがあります。このような場合は、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けていったん強制的に電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。

☹➡☺ 休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

 パソコン本体やディスプレイのケーブルなどは正しく接続されていますか？

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
すべて正しく接続されているのにディスプレイに何も表示されないときは、ディスプレイまたはパソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

「Windows ブートマネージャ」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。
セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」メニューの▶から「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。PART2「再セットアップ」をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

「Windows Vista再セットアップ」が表示された

「終了」をクリックしてください。Windowsが起動します。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.33)をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、添付のディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しはおこなわないでください。電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを４秒以上押し続けてください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。

このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。ハードディスクに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。

Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、何かキー(【Enter】など)を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。

フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。PART2「再セットアップ」をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

カーソルが表示されたきり、何も表示されない

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、再起動してください。

ハードディスク内のWindowsが起動します。

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

パソコンに異常があると、電源を切っても電話回線が切断されない場合があります。その場合は一度、パソコンの電話回線用モジュラコネクタからモジュラケーブルを抜いてください。電話回線が切断されます。
パソコンの電源を切ると、ダウンロード中のデータは正常に保存されません。

チェック!!

電話回線を使うソフトを起動しているときは、ソフトを終了させてから電源を切ってください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOSセットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

1. **別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻します。**
2. **パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押します。**
   BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。
3. **【F9】を押します。**
   「Load Optimal Defaults?」の画面が表示されます。
4. **「Ok」が選択されていることを確認して【Enter】を押します。**
   システムの設定が初期値に戻ります。
5. **【F10】を押します。**
   「Save configuration changes and exit setup?」の画面が表示されます。
6. **「Ok」が選択されていることを確認して【Enter】を押します。**
   システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

チェック!!

「BIOS セットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

参照

BIOS セットアップユーティリティについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」

チェック!!

- 手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何度か【F2】を押してください。
- ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F2】を何度か押してください。

Media Centerを使用していると、動かなくなってしまう。動作が遅い

Media Center画面の下に、ほかのソフトの画面が表示されていませんか？

ほかのソフトの画面がMedia Center画面の下に重なっている可能性があります。
Media Center 右上の最小化ボタンをクリックして、ほかのソフトの画面が表示されていないか確認します。ソフトの画面やメッセージが表示されていた場合は、内容をよく読んで操作してください。

省電力機能

省電力状態（休止状態/スリープ状態）からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能（スリープ状態/休止状態）に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

電源ケーブルは正しく接続されていますか（スリープ状態のとき）？

電源ケーブルを正しくコンセントに接続します。電源ケーブルが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持（記録）されない場合があります。

スリープ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか?

スリープ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、保持（記録）された内容は消えてしまう場合があります。

参照

省電力機能について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記録)した内容は消えてしまう場合があります。

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにフロッピーディスクやCD-ROMから起動してしまうことがあります。
省電力状態にする場合には、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。なお、フロッピーディスクを取り出す前に、必要なファイルは保存してください。

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

・プリンタで印刷しているとき
・モデムなどを使って通信中のとき
・サウンド機能により音声を再生しているとき
・ハードディスクを読み書き中のとき
・CD-ROMなどを読み取り中のとき
・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

チェック!!

省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

パスワード

Windowsを起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示される

☹➡☺ Caps Lock(キャップスロックキーランプ)が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプは、キーボード上側に付いています。キャップスロックキーランプが点灯しているときは英字の入力が大文字入力になります。【Shift】を押しながら、【Caps Lock】を押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力しなおしてください。

☹➡☺ Num Lock(ニューメリックロックキーランプ)は点灯していますか？

ニューメリックロックキーランプは、キーボード上側に付いています。ニューメリックロックキーランプが点灯しているときは、テンキーを使って数字の入力ができます。【Num Lock】を押して、ニューメリックロックをしてから、パスワードを入力しなおしてください。

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

一度パスワードを間違えると(または何も入力しないで➡をクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワードリセットディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

また、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名を登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウント管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。手順の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」または「許可」をクリックしてください。
詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOSセットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、パソコンを起動できません。NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

チェック!!

- ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- 「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、左のパスワードの設定操作はできません。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

ウイルスに感染したらしい

コンピュータウイルスに感染した場合は、すぐにインターネット接続のために使っている電話回線のコードやLANケーブルをパソコンから取り外し、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」を使って、ウイルスを駆除し、被害を届け出ましょう。

参照

「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」

パソコンを落とした

外観上、特に問題なさそうなら、とりあえず電源を入れてみてください。正常に動作するようならば、ひと安心です。万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源ケーブルをコンセントから抜いて、NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

付　録

RAID（レイド）機能について

（ValueOne MT の RAID モデルのみ）

RAID機能を使えば、より高速で信頼性の高いシステムを構築できます。

RAID 機能とバックアップについて
RAID（Redundant Array of Inexpensive Disks）とバックアップとは異なります。RAID機能はデータの安全性を向上させる技術ですが、完全なデータ保護を保証するものではなく、RAID 機能を搭載しているモデルであってもバックアップの必要性がなくなるわけではありません。大切なデータを失わないために定期的にデータのバックアップを取ることをおすすめします。

RAID 機能とは

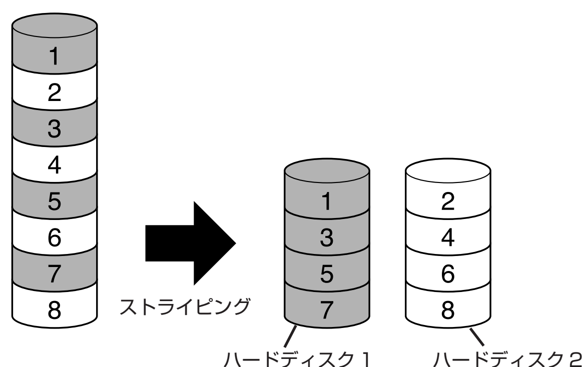
RAIDとは、複数のハードディスクをまとめて 1 台のハードディスクとして管理する技術です。RAID 機能を活用することにより、次の効果が期待できます。

・データの安全性向上
　ハードディスク障害時のデータ損失を防ぎます。
・データ処理の高速化
　ハードディスクへの読み込み、および書き込みの速度を高速化します。

このパソコンのRAID機能には、４つのレベルがあります。それぞれ使用可能なハードディスクの構成、データの安全性、処理の速さが異なります。

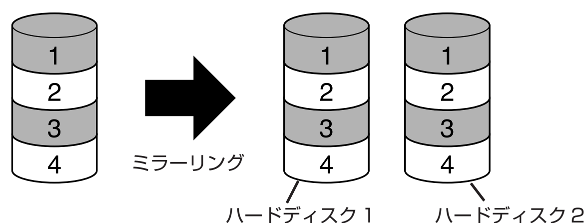
● RAID0（ストライピング）

2台以上のハードディスクを1つの大きなハードディスクとみなし、データを読み書きする技術です。データの読み込み、書き込みの速度が、RAID0を構成していない状態に比べて高速化されるというメリットがあります。ハードディスク障害時に重要なデータを保護する機能はありませんが、大容量のデータを取り扱いたい場合に適しています。



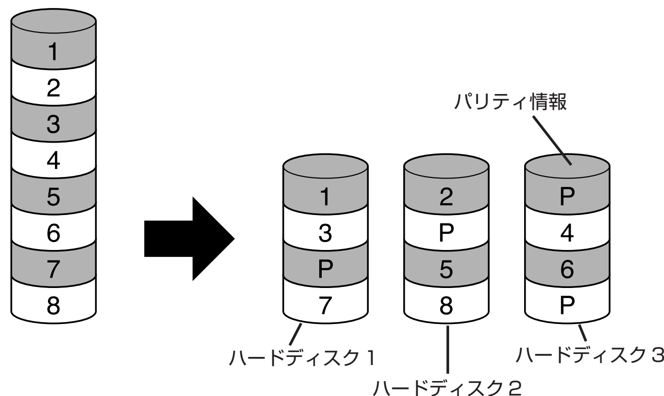
● RAID1（ミラーリング）

2台のハードディスクに対して、同じデータを同時に書き込む技術です。そのため、データの安全性に優れており、一方のハードディスクに障害が起きた場合でも、もう一方のハードディスクのデータが無事な場合は、稼動し続けることができます。搭載しているハードディスク容量の半分しか使えませんが、重要なデータの保存に適しています。



● RAID5

3台以上のハードディスクを1つの大きなハードディスクとみなしデータを書き込む技術です。パリティ情報(誤り訂正符合)を書き込むことでデータの安全性を確保しています。パリティ情報は、ハードディスク１台分の容量を占めます。また、パリティ情報を算出するためデータの書き込みに若干時間がかかってしまいます。



RAID1、RAID5 構成で使用中のご注意

RAID1、RAID5の構成で使用中に、停電や電源コンセントの引き抜き、電源ボタンの長押しによる強制終了といった不意の電源断が起こると、直後の再起動でRAIDボリュームの初期化または「確認および修復」がおこなわれる場合があります。これはハードディスクの故障ではありませんが、RAID ボリュームの初期化または「確認および修復」の完了を待ってご使用ください。

RAID ボリュームの初期化または「確認および修復」にかかる時間は、400GB、4台構成の場合で約12時間(アイドル状態時)です。

RAID ボリュームの初期化または「確認および修復」の実行中は通常のWindows動作が遅く感じられることがあります。またハードディスクの読み書きを行うような動作はなるべく避けてください。

RAIDボリュームの初期化または「確認および修復」の実行中に再セットアップをおこなった場合でも、RAIDボリュームの初期化または「確認および修復」は継続します。パソコン上の処理に多大な負荷がかかりますので、再セットアップをおこなう場合は RAID ボリュームの初期化または「確認および修復」の完了後におこなってください。

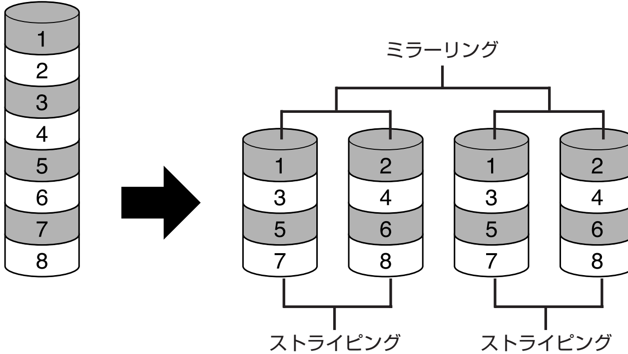
RAIDボリュームの初期化または「確認および修復」がおこなわれる場合、画面右下のポップアップウィンドウで通知されます。

RAID ボリュームの初期化中
RAID ボリュームを初期化しています。

RAID ボリュームの確認および修復の実行中
RAID ボリュームのデータを確認および修復しています。

● RAID10（RAID0+1）

RAID0 のストライピングと RAID1 のミラーリングの両機能を同時に実現している技術です。最低 4 台のハードディスクが必要になります。RAID0のデータの処理速度と、RAID1と同様のデータの安全性を同時に実現します。



各RAIDレベルの特徴を「使用可能な容量」「データの安全性」「処理速度」から比較すると次の表のようになります。

	使用可能な容量	データの安全性	処理速度
RAID0	搭載している全容量	低い	速い
RAID1	全容量の半分	高い	若干遅い
RAID5	全体からハードディスク1台分を差し引いた容量	高い	RAID1より速く RAID0より遅い
RAID10	全容量の半分	高い	速い

チェック!!

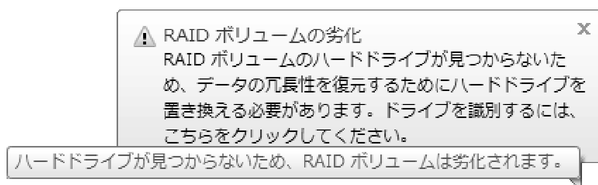
- RAID1/5/10 はデータの安全性を向上させる技術ですが、完全なデータ保護を保証するものではありません。定期的なデータのバックアップを取ることをおすすめします。
- 電源を入れた後にIntel(R) Matrix Storage Manager option ROM が表示された場合は【Esc】の後、【Y】を押してメニューを終了させてください。このパソコンでは、Intel（R）Matrix Storage Manager option ROM を利用したRAIDの設定変更はサポートしていません。ハードディスクのデータがすべて消去される可能性がありますのでご注意ください。

ハードディスク障害が発生したときには

RAID1/5/10では、1つのハードディスクに障害が発生しても、データが保護され、動作可能な場合があります。すぐにデータのバックアップを取り、修理を依頼してください。

●メッセージを確認する

ハードディスクが故障した場合、画面の右下のポップアップウィンドウで通知されます。



●修理を依頼する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Intel(R) Matrix Storage Manager」-「Intel Matrix Storage Console」をクリック

Intel Matrix Storage Consoleの画面が表示されます。

2 「表示」メニューから「詳細モード」を選択



3 「RAIDハードドライブ」配下にあるそれぞれのハードドライブの「デバイスポート」を確認

Intel Matrix Storage Console画面左側のエリアのハードドライブをクリックすると、右側の情報エリアで「デバイスポート」が確認できます。ここで欠番となっている番号のデバイスポートのドライブが故障しているドライブになります。
また、画面左側のエリアで未使用ポートとして表示されるポートの番号は、RAIDコントローラがサポートしているデバイスポート番号を表示しています。
この中には本体で使用していないデバイスポート番号も含みますのでご注意ください。

4 必要なデータのバックアップを取る

必要なデータのバックアップを取ります。詳しくは、PART2の「データのバックアップを取る」(p.34)をご覧ください。

チェック!!

手順1にて「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「許可」をクリックしてください。

5　再セットアップディスクを作成する

再セットアップディスクを作成していない場合は、ここで作成してください。手順について詳しくは、PART2の「再セットアップディスクを作成する」(p.44)をご覧ください。

6　修理を依頼

NEC 121コンタクトセンターにご連絡ください。

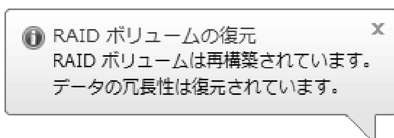
フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

● RAIDを再構築する

新しいハードディスクに交換した後は、RAID構成の復旧作業をおこないます。ハードディスクの交換後、Intel® Matrix Storage Managerが自動的にRAID構成の再構築をおこなう場合、画面右下のポップアップウィンドウで通知されます。



経過を次の手順で確認することができます。

1　「スタート」-「すべてのプログラム」-「Intel(R) Matrix Storage Manager」-「Intel Matrix Storage Console」をクリック

Intel Matrix Storage Consoleの画面が表示されます。

2　「表示」メニューから「詳細モード」を選択

3　左側の表示エリアで「ボリューム」配下にある該当するボリューム名を選択

右側の表示エリアの「ステータス」に「再構築中：××%完了」と表示されます。再構築が完了したら、「ステータス」は「正常」と表示されます。

自動での再構築に失敗した場合は、Intel® Matrix Storage Managerのポップアップメッセージとして「RAIDボリュームは劣化されましたが、再構築できる可能性があります」が表示されます。この場合は、Intel Matrix Storage Consoleの画面上で再構築をおこないます。



チェック!!

- Intel® Matrix Storage Managerをアンインストールしてしまっていると、自動でのRAIDの再構築ができません。「Intel® Matrix Storage Managerについて」(p.77)をご覧ください。
- 標準ユーザーがIntel Matrix Storage Consoleを起動時、管理者ユーザーのパスワードを入力することで全機能が使用できるようになります。標準ユーザーでの使用を制限する場合は、管理者ユーザーのログオンパスワードを登録してください。
- RAID再構築中に電源オフ、または休止状態に入った場合、再構築処理は中断されます。パソコンの再起動後、再構築処理は中断された時点から再度実行されます。

チェック!!

手順1で「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「許可」をクリックしてください。

「RAID以外のハードドライブ」配下に表示されているハードドライブを右クリックし、「このハードドライブに再構築」、または「スペアとしてマーク」を選択します。画面の指示にしたがってRAIDの再構築をおこなってください。それでも、再構築できない場合は、次の「再セットアップしてRAIDを再構築する」をご覧ください。

●再セットアップしてRAIDを再構築する

1 再セットアップディスクで再セットアップする

再セットアップディスクで再セットアップをおこない、RAID構成を再構築します。

詳しくは、PART2の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.48)をご覧ください。

2 バックアップデータを復元する

再セットアップをおこなった場合は、ハードディスクのデータは消去されています。ハードディスク交換依頼前に作成しておいたバックアップデータを復元してください。

チェック!!

・RAIDの再構築中はハードディスクの読み書きをおこなうような動作は避けてください。再構築完了後におこなってください。特にTV録画再生についてはコマ落ちなどの原因になりますので再構築中はおこなわないでください。

・パソコンの動作中は、正しい手順で電源を切ってください。Windowsが起動しなくなることがあります。

RAIDレベルを変更するには

・RAID0、およびRAID1を構成するには最低2台のハードディスクが必要になります。

・RAID5を構成するには最低3台のハードディスクが必要になります。

・RAID10を構成するには最低4台のハードディスクが必要になります。

・このパソコンでは、RAID0からRAID5に変更できません。

・ご購入時のハードディスク構成のみ保証しています。ご購入時の状態からハードディスクを交換、増設して再セットアップによりRAIDを再構成した場合や、Intel® Matrix Storage Managerの機能を使用してRAIDレベルを変更した場合は動作保証の対象とはなりませんのでご了承ください。

●再セットアップしてRAIDレベルを変更する

1 必要なデータのバックアップを取る

再セットアップでRAIDレベルを変更すると、ハードディスクに保存されているデータは消去されます。必要なデータのバックアップを取ってください。バックアップについて詳しくは、PART2の「データのバックアップを取る」(p.34)をご覧ください。

2 再セットアップディスクを作成する

再セットアップディスクを作成していない場合は、ここで作成してください。手順について詳しくは、PART2の「再セットアップディスクを作成する」(p.44)をご覧ください。

3 **再セットアップディスクで再セットアップする**

再セットアップディスクで再セットアップをおこない、RAIDレベルを変更します。手順について詳しくは、PART2の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.48)をご覧ください。

4 **バックアップデータを復元する**

再セットアップをおこなった場合は、ハードディスクのデータは消去されています。手順1で作成しておいたバックアップデータを復元してください。

> 一般的には、ハードディスクを交換、増設してRAIDを構成するためには、すでに取り付けられているハードディスクとまったく同じ容量、もしくは大きい容量のものでなければ設定できません。メーカーが異なると、同じ表示容量のハードディスクでもシステムが認識する容量が異なる場合があるのでご注意ください。ご購入時の状態からハードディスクを交換、増設してRAIDを再構成した場合や、Intel® Matrix Storage Managerの機能を使用し、再セットアップによりRAIDレベルを変更した場合は動作保証の対象外です。

Intel® Matrix Storage Managerについて

Intel® Matrix Storage Managerは、Windows上で次のことをおこないます。

- **RAIDの状態表示**
- **RAIDの状態が劣化した場合の警告表示**
- **RAIDの再構築**

削除してしまうと、これらの機能が利用できなくなります。Intel Matrix Storage Consoleをアンインストールしないでください。

使い方について詳しくは、Intel® Matrix Storage Managerのヘルプをご覧ください。

- **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Intel(R) Matrix Storage Manager」-「ヘルプ」**

●誤ってアンインストールしてしまったら

次の手順で再インストールしてください。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリック**

2 **「名前」に「C:¥DRV¥IMSMUTL¥SETUP.EXE」と入力し、「OK」をクリック**

これ以降の操作は画面の指示にしたがってください。

3 **インストールが完了したら、パソコンを再起動する**

チェック!!

このインストール手順は、インストール可能OS用ドライバが「C:¥DRV¥IMSMUTL」にあることを前提としています。

パソコンのお手入れ

パソコンは精密機械なので、日頃のお手入れが欠かせません。マウスやキーボードも、こまめに清掃することで長く快適に使用できます。

日頃のお手入れのしかた

準備するもの

軽い汚れのとき



乾いたきれいな布を
用意します

汚れがひどいとき



水かぬるま湯を含ませて、
よくしぼった布を用意します

その他、こんなものもあると便利です。
・OA 用クリーニングキット
・中性洗剤
・掃除機、など

チェック!!

- OA 機器用クリーニングキットも汚れをふき取るのに便利です。
- シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。

電源を切って、電源ケーブルを外す

お手入れの前には、必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切ってください。通常、パソコンを使っていないときも、パソコンはスリープ状態になっています。一度、Windows を起動してから、「正しい電源の切り方」（p.59）の手順で電源を切ってください。電源ケーブルはコンセントから抜いてください。

電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

清掃する

※ イラストはイメージ図です。

パソコン本体
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

パソコンの内部
長期間使うと、ホコリがたまるので、定期的に清掃してください。

ディスプレイ
やわらかい布でふいてください。
化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。

キーボード
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。
キーのすきまからゴミなどが入ったときは、掃除機などで吸い出します。

マウス
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

電源ケーブル
電源ケーブルのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにホコリがたまることがあります。定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

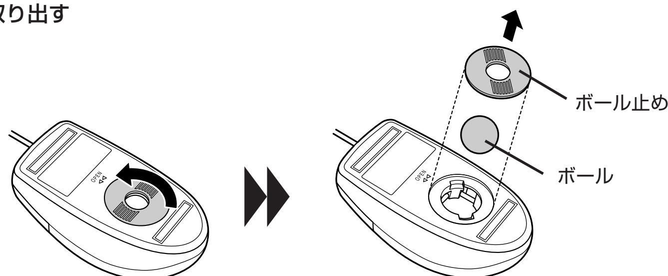
チェック!!
水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。

チェック!!
マウスのローラーやボールの清掃については、この次の「マウスのローラーやボールのクリーニング」をご覧ください。

マウスのローラーやボールのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスの反応が悪くなります。油分が付着すると故障の原因になる場合もあります。特にローラーは汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングしてください。

1 **マウス裏側のボール止めを矢印の方向にまわして取り外し、ボールを取り出す**

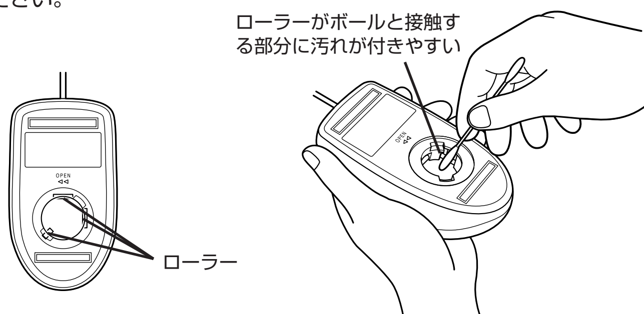


2 **ボールを中性洗剤で洗って汚れを落とす**

洗った後は、必ず水で洗剤を洗い落とし、乾いた布で水分をよくふき取って乾燥させてください。

3 **マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり落とす**

汚れが落ちにくいときは、やわらかい歯ブラシなどで汚れを取ってください。このとき、歯ブラシに水や歯磨き粉などを付けないでください。



4 **ボールをマウスに戻し、ボール止めを取り付けて手順1と反対の方向にまわして固定する**

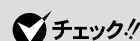
チェック!!

- 取り外したボールやボール止めを、小さなお子さんが誤って飲み込んだりしないようにご注意ください。
- クリーニング中にマウス内部にゴミが入らないようにご注意ください。
- ローラーの汚れを取るときには、金属ブラシやカッター、ヤスリなど硬いものは絶対に使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因になります。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。詳しくは、『121ware ガイドブック』をご覧ください。



NEC 121コンタクトセンターなどにこのパソコンの修理を依頼される場合は、設定したパスワードは解除しておいてください。

消耗品 / 有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と有寿命部品は次のとおりです。

種類	内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。 本体の保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク、 CD-ROMディスク、 DVD-ROMディスク、 SDメモリーカード、 メモリースティック、 バッテリ、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。詳しくは、NEC 121コンタクトセンターの故障診断・修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、 ハードディスクドライブ、 DVD/CDドライブ、 キーボード、 マウス、 ファン

・記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは「仕様一覧」をご覧ください。

・有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
また、長時間連続使用等のご使用状態や、温湿度条件等のご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。

・本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。

パソコンの譲渡、廃棄、改造について

このパソコンを譲渡するには

●譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

   ※第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイアカウント(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除いただくか、またはEメールアドレスwebmaster@121ware.com宛にご連絡ください。

チェック!!

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法については、PART2の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」の「ハードディスクのデータ消去」(p.49)をご覧ください。

●譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。

http://121ware.com/my/　にアクセス

●はじめて登録するかた

「新規登録はこちら」をクリックして登録

●以前ハガキ、オンライン、FAXなどで登録されたかた

「インターネット以外の方法でご登録済みの方はこちら」をクリックして登録

●すでにログインIDをお持ちのかた

「ログイン」をクリックして、ログイン後、保有商品情報の「新規・追加登録」で登録

インターネットに接続できないかたは、お客様登録に必要な次の事項を記入し、郵送してください。

記載内容

1. 本体型番、型名のいずれかと保証書番号
（本体背面/側面または保証書に記載の型番/型名のいずれかと製造番号）
2. 氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス、中古購入された場合はそのご購入先、ご購入日
3. 121ware お客様登録番号
（以前登録されてすでに「121wareお客様登録番号」をお持ちのかたは、記入をお願いします。）

宛先

〒143-8691 東京都大森郵便局 私書箱５号
NEC121ware 登録センター係

このパソコンを廃棄するには



本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。
PCリサイクルマークが銘板（パソコン本体の側面または背面に型番や製造番号が記載されているラベル）に表示されている、または、PCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は弊社が責任をもって回収・再資源化いたします。

当該製品をご家庭から排出する際、弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力頂ける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。

廃棄時の詳細については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」（URL：http://121ware.com/support/recyclesel/）をご覧ください。

なお、下記の窓口でも廃棄についてお問い合わせいただけます。

NEC 121コンタクトセンター

廃棄のお問い合わせ　受付時間：9:00 ～ 17:00（祝日は除く）

0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話、PHSなどフリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000（東京）（通話料はお客様負担となります）
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

当該製品が事業者から排出される場合（産業廃棄物として廃棄される場合）当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。
廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
（URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html）

本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のホームページをご覧ください。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/release/020411.html

パソコンのハードディスクやメモリーカードには、お客様が作成、使用した重要なデータが記録されています。このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化(フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。

このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際に、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において完全に消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊(メモリーカードの場合は、金槌による物理的破壊のみ)して、読めなくすることを推奨します。有償のデータ消去サービスは、NEC フィールディング株式会社にご依頼ください。

NEC フィールディングホームページ URL:
http://www.fielding.co.jp

また、ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

チェック!!

パソコンの再セットアップでデータが消去されるのは、このパソコンに内蔵されたハードディスクのみです。

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。

記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

修理チェックシート

A欄・故障診断用

修理依頼日	20　　年　　月　　日

ご住所	〒　　　－		
フリガナ お名前 (貴社名)		電話番号	ご自宅 (　　　)　　　－ FAX (　　　)　　　－
部署名/ご担当者名 (法人の場合)		日中の連絡先 (お勤め先・携帯電話等)	

(本体) 製品型番/型名	PC-	製造番号	
(ディスプレイ) 製品型番/型名		製造番号	

症状について

1 どのような症状ですか？（できるだけ詳しくご記入ください）

① 電源は入りますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
② 本体ランプは点灯しますか？	□ はい（　　　　色）		□ いいえ
③ モニタランプは点灯しますか？	□ いいえ	□ グリーン色	□ オレンジ色
④ ファン(通風)は回転しますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑤ 「NEC」ロゴは表示されますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑥ Windowsは立ち上がりますか？	□ はい	□ いいえ	□ 時々

2 その症状はいつから発生していますか？　　20　　年　　月　　日頃から

3 その症状はどんな操作をしたときに起こりますか？

4 症状の発生頻度を教えてください　□ 常時　□ 一日に数回　□ 週に数回　□ 月に数回　□ 年に数回　□ 不定期的に　□ 過去に発生した

5 お客様が追加してインストールされたソフトウェアがあれば、メーカー名、製品名をご記入ください

6 お客様が増設した周辺機器があれば、製品名をご記入ください
（対象：メモリ・ハードディスク・プリンタ・モデム等）

7 インターネットまたは電子メールに関する故障の場合は使用回線を教えてください
□ アナログ電話回線　□ ISDN　□ ADSL　□ 光回線　□ CATV　□ 社内LAN
□ その他〔　　　　　　　　　〕

8 テレビに関する故障の場合はテレビ電波の種類を教えてください
□ 地上波アナログ　□ 地上波デジタル　□ BS　□ CS　□ CATV〔会社名：　　　　　〕

B欄・修理申込用

1 お買い上げ日	20　　年　　月　　日
2 保証書の添付について	□ 無 □ 有〔保証書には販売店印または販売店の発行する領収書（購入日がわかるもの）が必要です〕
3 修理料金見積りについて	□ 見積不要（修理連絡なしに修理してもよい） □ 見積連絡不要　※見積連絡の必要がないので早く修理品を返却できます。 〔　万　千円以下（税込）であれば連絡なしに修理してもよい〕 □ 見積連絡必要
4 お預りする添付品について	□ 無 □ 有（□ ACアダプター　□ メモリ　□ 電源コード　□ キーボード　□ マウス　□ フロッピー媒体　□ CD媒体　□ 保証書　□ その他（　　））
5 ［重要］ハードディスクの初期化について ※1	□ 同意する □ 同意しない（故障原因がハードディスクまたはソフト障害の場合、ご同意いただけないと修理を行うことができません。そのままお返しすることをご了承ください。ハードディスク故障またはソフト障害のみ初期化。他の部品故障はハードディスクの初期化は行いません。）
6 ハードディスク内のデータのバックアップについて ※1	□ バックアップした □ バックアップしない
7 セットアップメニュー（BIOSメニュー）のスーパバイザパスワードの設定について ※2	□ 設定していない □ 設定しているが修理を出す前に解除した □ 設定しているが「12345」（半角）に変更した □ パスワードを教える。〔スーパバイザパスワード　　〕
8 ログインする際のユーザー名でAdministrator（コンピュータの管理者）権限を持つユーザー名について（セットアップ時の登録ユーザー名） ※2	ユーザー名〔　　〕 パスワードの設定 （□ 設定していない（修理を出す前に解除した） □ 設定しているが「12345」（半角）に変更した □ パスワードを教える。〔パスワード　　〕）

注意事項

※1 修理のためにハードディスクの初期化が必要となる場合があります。初期化によりハードディスク内に記録されているお客様すべてのデータおよびソフトウェアが消去されます。
（パソコン内に登録されたソフトウェアや作成されたデータ、インターネット接続情報、メールアドレスやメール内容、お客様が取り込んだ写真、ホームページお気に入り情報、その他お客様が登録された固有の設定情報など、ハードディスク内の「すべてのドライブ」の「すべてのデータ」が消去されます。）
従いまして、常日頃からこまめにバックアップ(複製)するとともに、修理に出される前には必ずバックアップをお取りいただくようお願いいたします。
また、初期化にご同意いただけない場合、修理をすることができず診断料を請求しそのままお返しすることがあります。

※2 修理に出される前に、必ずパスワードを解除するか「12345」（半角）に変更していただくようお願いいたします。指紋認証システムをご利用のお客様は、あらかじめ認証機能を解除してください。
ご希望により当社でパスワードを解除(有料) する場合は、121コンタクトセンター（フリーコール　0120-977-121）〈故障診断・修理受付〉までお問い合わせください。認証解除等においては再セットアップが必要になる場合があります。

索引

MEMO

MEMO

異常や故障の場合には

万一、本機に異常や故障が生じた場合には、次のように対処してください。

・本機から煙が出たり、異臭がしたりする
・本機が、手で触れないほど熱い
・本機から異常な音がする
・本機や接続されたケーブル類が破損した

↓

すぐに電源を切って電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
バッテリパックを取り付けている場合は取り外してください。
※電源が切れないときには、そのまま電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

↓

NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。



初版 2007年1月
NEC
853-810601-629-A
Printed in Japan

ValueOne
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙(古紙率：表紙70%、本文100%)を使用しています。